



中の  
川よ  
りの  
荒  
だ

青い雲



教育目標「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」  
目指す学校像：「笑顔とハートのある学校」  
(熱いハート、温かいハート、柔らかいハート)

村上市立荒川中学校  
令和元年度第7号  
令和元年9月27日発行

## 「あいさつ」から感じること

校長 渡辺 安治

朝夕めつきり涼しくなりました。今週はテストがあり、生徒はそれぞれ、虫の声を耳にしながら、テスト勉強を頑張ったのではないかと思います。

先日、学校運営協議会で、地域の方から「最近、生徒のあいさつに元気がない。大きな声で元気よくあいさつしてほしい。」というご意見をいただきました。二十七日は『荒川あいさつの日』です。おはよう、さようならなど、元気よく大きな声であいさつを交わしましょう。

私たちの学校でも旧荒川町の頃から、「生きる力」を育てる教育として、『あいさつ がまん あとしまつ』のできる子を目指してきました。学校生活・家庭生活・社会生活全てに当てはまるのが、『あいさつ がまん あとしまつ』だからです。

特に「あいさつ」は生活の基本中の基本です。どの生徒も将来、秘めた可能性を持っています。あいさつができることで、宝石の原石のようになります。その原石が、「がまん」により磨きをかけられます。更に、「あとしまつ」という振り返って行動することで、広い視野を持ち、地域や社会に貢献するような光を放って輝き、豊かに一層魅力的になると期待できます。あ

いさつを私たち大人も大切にしています。荒川の教育にあるように、「笑顔であいさつします。また、ありがとう・ごめんなさいと素直に言います。みんなと仲良くします。」これらは全て、あいさつに関することで、私たちの地域が大切にしてきたことです。

学年だよりでも、「あいさつはなぜ大切？」と紹介しています。大きなあいさつは自分も気持ちよくなる。あいさつで笑顔になる。相手への印象がよくなり、人間関係もよくなる。常識ある人という評判も得られる。どれもその通りです。

朝、校門前の横断歩道で「おはよう」と生徒に声をかけています。大きな声で「おはようございます」と返してくれたり、あいさつと一緒に丁寧に辞儀もしてくれたりします。私が気付かないでいると、一層大きな声であいさつしてくれる生徒もいます。そんなとき、びっくりしますが、とてもうれしいです。生徒のあいさつから、心と体の調子がおおよそ感じられます。「いつも元気そうだ。」「声が小さいが、今日は何かあったかな。」など、その日の心と体の調子を気にかけています。

生徒が、毎日元気であいさつを交わし、勉強や部活動などに一生懸命に取り組めるように、ご家庭からもご支援・ご協力をお願いいたします。